

議 会 だ よ り

清水町

2016年(平成28年)2月

No.144

■発行 北海道清水町議会
 ■編集 清水町議会運営委員会
 〒089-0192 上川郡清水町南4条2丁目
 ☎62-3317 FAX62-5160

日ハム応援大使活用事業費など

一般会計補正予算を可決

第7回定例会

第7回定例会は12月8日に開会、15日までの8日間を会期として開かれました。

町からは条例の制定1件と一部改正10件、6会計の補正予算等の提案があり、審議の結果、全て原案のとおり可決しました。10日と11日の一般質問では、10人の議員が23項目にわたり質問を行いました。

北海道日本ハムファイターズ応援大使

活用事業費を含む一般会計補正予算が定例会最終日の15日に提案され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

北海道日本ハムファイターズ応援大使とは、球団が道内市町村の活性化とPRを目的に、毎年18市町村を抽選で選び、選手を応援大使に任命する



球場正面玄関に置かれて
いる選手の等身大パネル

野球教室の開催など、さまざまなイベントの実施が可能になります。今回の補正予算では、

ものです。

2016年は清水町が選ばれ、応援大使には、一軍で活躍する杉谷拳士選手と、若手のホープ浅間大基選手の2名が任命されました。

任期の一年間は、町内の学校等への訪問やトークショーの開催、特産品のPR、更には球団による応援観戦ツアーへの招待、球団OBによる少年

3月までの事業費として

183万7千円が追加されました。内訳は、2月に行われる春季キャンプへの激励訪問等に係る沖縄への旅費とレンタカー借上料に78万7千円。役場庁舎と御影支所に掲げる応援大使懸垂幕の作成費用等に42万6千円。ホームナープラザへの看板設置費用に62万4千円です。

議員からは、看板の設置場所と4月以降の事業について質疑があり、これに対して商工観光課長からは、「看板は列車に乗っている人からも見えよう、線路側に設置する」「4月からの事業は、

平成27年度 補正予算

一般会計 (7・8回目の補正)

2,782万円 増
総額85億3,421万円

一般会計の主な補正(歳出)

◇いきいきふるさとづくり寄附報償	1,540万円の増額
◇いきいきふるさとづくり基金積立金	954万円の増額
◇選挙人名簿システム改修委託料	36万円の増額
◇障害者自立支援給付費	1,120万円の増額
◇介護予防ケアプラン作成委託料	31万円の増額
◇ドクターヘリ運航加入時負担金	131万円の増額
◇清掃センター混練機補修工事	1,534万円の増額
◇農村浄化槽設置推進事業補助金	44万円の増額
◇経営所得安定対策直接支払推進事業補助金	48万円の増額
◇アイスアリーナ等指定管理委託料	175万円の増額

これから球団関係者と内容を詰めていく。基本的には球団から示されるものを実施することになるが、独自に球団を盛り上げ、大使とともに清水町をPRしていけるような構造へ変えていきたい」との答弁がありました。

また、「町民が良かったと思える、心に残る事業にするためには、町を挙げた取り組みが必要であり、役場内で組織化して対応する考えはないか」との質疑に対しては、「農協、商工会、観光協会、体育協会、尽力いただいた日ハム清水町後援会の皆さまに協力をいただき、関係課とも十分協議しながら、この事業を推進していきたい」との答弁がありました。